

学びの部屋 ～3年生～「毛筆の学習を始めました」

3年生になると、社会科や理科、総合的な学習の時間など、新しい教科の学習が始まったり、学習の中で使用する道具の種類が多くなって学習の幅が広がったりします。

国語科では、毛筆を使用した書写学習が始まりました。最初に、用具の準備や書くときの姿勢、筆の持ち方などを確認します。肘をしっかり上げて筆をもち、力の入れ具合によって線の太さが変わることを味わいながら、まずは、細い線や太い線、曲線など、いろいろな線を自由に書いてみました。初回の学習では、横画の書き方を理解した上で「二」に、2回目の学習では、さらに縦画の書き方を学び、「土」に挑戦しました。子供たちは書き始めの穂先の向きや、書き終わりの止めなどのポイントを意識し、集中して取り組んでいました。「習字って楽しい!」、「次は、いつやるんですか?」と、多くの子が意欲満々です。この気持ちをこれからも続けられるよう、工夫して指導してまいります。

(田向 あかね)



学びの部屋 ～4年生～「理科 ヘチマときゅうりの観察」

理科「季節の生き物について調べていこう」の学習では、植物の様子がどのように変化していくのかを1年間通して観察していきます。5月の下旬頃に、ヘチマときゅうりの苗の状態からプランターに植えました。草丈の高さや葉の大きさ、枚数などを詳しく観察カードにまとめる中で、3年生で栽培したひまわりやホウセンカと違いヘチマやきゅうりには「ツル」があることに気付きました。植物がツルを自ら支柱に絡ませる様子の動画を観た際には、「植物ってすごい」「本当に生きてるんだ」と新しい発見に驚いていました。

先日、栽培していたきゅうりを収穫しました。自分たちで大事に育てたきゅうりが立派に実り、大きな達成感を感じている子供がたくさんいました。収穫したきゅうりを調理師の方々が調理してくださり給食の時間にいただきました。子供たちは自分たちで育てたきゅうりを食べて「育てた甲斐があった」「自分で育てたきゅうりだから美味しい」と言っていました。



(佐藤 昭夫)

第1回 研究授業 5年生

本校では、子供たちの学力向上と教員の指導力向上のために、日々授業改善に取り組んでいます。今年度は、「主体的に学習に取り組む児童の育成～生活科・社会科における問題解決的な学習を通して～」を校内研究の研究主題とし、6月23日(水)に5年1組で第1回研究授業が行われました。

子供たちはこれまでに、社会科で寒い土地(北海道)の人々は雪や寒い気候をくらしや産業にどのように生かしているかを学習してきました。この寒い土地の学習を生かして、次はあたたかい土地に目を向け、沖縄県の人々がどのように生活しているのかを今学習しています。

当日の研究授業では、子供たちは沖縄県の伝統的な家が台風対策や暑さ対策をしていることに気付き、あたたかい土地に合ったたくさんの工夫があることが分かりました。そして、家だけではなく、農業や観光業、食べ物などが台風や暑さ対策のためにどのような工夫をしているのか予想を立て、自分が調べたいテーマを考えました。子供たちは、北海道で学習したことを生かしなが、どのような工夫があるのだろうかと活発に意見を発表し、まさに主体的に取り組むことができていたのではないかと思います。

今後の学習では、自分たちで選んだテーマについて、iPadを活用しながら調べ学習を行っていく予定です。子供たちが沖縄についてどのようなことを調べていくのか楽しみです。

(井上 翔太)

